

同大生“GLOCAL”プロジェクト ～国際協力と地域社会貢献

秋学期

今出川校地開講科目

1. 目的・概要

the purpose and an outline

本科目では、青年海外協力隊等の海外での国際協力活動と開発途上国での生活経験を持つ方々や、実際に多文化共生の課題に取り組んでいる個人・団体などを講師陣として、地域に暮らす在住外国人の人々の現状と課題を幅広い視点で探り、今日における多文化共生社会の再吟味と在り方について学ぶとともに、“GLOCAL”な地域づくりを提案するアクションプランの作成を行います。

留学生、労働者、移住者、国際結婚など、在住外国人の背景や事情はさまざまであり抱える問題も異なりますが、予備学習や情報収集、調査をととして、履修者自身が問題の抽出、分析を行い、取組み対象となる課題および対象者・地域を選定し、問題解決につながるアクションプランをチームで作成し、提案していきます。

在住外国人の課題解決に取り組むプロセスにおいて、これまで知らなかった日本の地域社会について発見し、授業をととして見聞し、体験し、感じたことを素材に、ユニーク且つ現実的に機能する“GLOCAL”な地域づくりを試みる中で、実体験を通じて、グローバル人材としての資質を磨くことを目指しました。



annual schedule

2014年 10月 24日	青年海外協力隊経験者の方のゲストスピーカー
31日	青年海外協力隊経験者の方のゲストスピーカー
12月 13日	教育班②による料理教室開催
19日	青年海外協力隊経験者の方へ各班プレゼン 教育班①による教育講座
2015年 1月 14日	行政班、京都市へプレゼン
16日	地域班、協力団体やボランティア団体へセミナー



2. 成果達成度

the achievement degree

私たちは教育チーム二班と行政チーム一班、地域交流チーム一班の合計四つの班に分かれて活動をしました。

教育チーム①では日本で暮らす在外外国人が抱える問題や生活の実態を学んでもらうワークショップを実施しました。対象は主に教職課程を履修する学生そもそも彼らが抱える様々な課題を知らないという事を知ってもらう事が大きな目的として取り組みました。事前アンケートでは多くの人々が在住外国人の問題に対する認識やそれを知る機会が不足していること、そもそも外国の人との交流が大変少ない事が判明しました。ワークショップでは統計データに基づく講義とゲストスピーカーのお話、参加者自身に実際外国国籍の生徒がいるクラスを想定したレクリエーションの企画の課題に取り組んでもらいました。



教育チーム②では日本人・外国人親子の多文化理解を深めるとともに、相互のつながりをつくる機会を提供することを目指し、日本人と在住外国人、在住外国人同士の親子を対象に料理教室を実施しました。日本人・外国人ともに子ども同士、親同士の交流が深まり交流を通して、宗教や文化についても学びました。

行政チームでは行政のサービスは多くあるものの、その認知度が低く、活かされていない時間や定められていて不便という課題を見つけ、SNSを作ってボランティアとのマッチングを実現することを考えました。京都市内には、語学を習得したのに使う場所がなかったり、見つけられない人が多くいます。その人達にボランティアとして、言語の助けが必要な在外外国人に必要なサービスを提供してもらう事で行政サービスをもっと便利にする事を目指しました。

地域交流チームでは地域に溶け込み地域が理解する在外外国人の人達の話や聞き取り、よそ者感を感じて、引きこもりがちになることが多いのですが、思いきって外に出てみると友達が沢山できる事が多いということをお聞きしました。

そこでそれを地域に広げて、地域に住む在外外国人のコミュニティが地域と溶け込み、地域も彼らを理解する場を作ることを目指しました。



チームとしてアクションプラン作成に至る一連の作業と活動をとおして、国際協力や国内のコミュニティ活動等の実務に対応できるようになりました。

在住外国人を「支援する」という観点だけでなく、彼ら彼女らもつ文化、知恵、考え方、技術などをいかにして日本社会のなかで「活かしていくべきか」という視点で本プロジェクトに取り組むことで、将来、国際協力活動やグローバルビジネスの世界でチャレンジしていくための思考力を身につけました。

3. プロジェクトを通じて

through a project

本プロジェクトは秋学期だけ開講されているテーマのもとで半年間という短い期間ではあったものの、多くの学部幅広い年齢の方と意見をぶつけ合い試行錯誤しながらも解決策を見つけるという過程を通して尊敬できる仲間が出来たと同時に、成長した自分を見つけることが出来ました。またこのプロジェクトではゲストスピーカーを招いて自分の知らない知識や経験をインプットすることと同時に、自分たちが考え導き出した考えをアウトプットする機会にも恵まれていました。座学ではなくアクションを起こすことで得られたものは今後の人生にも役立つものとなるでしょう。

【編集後記】

本プロジェクトは受講生だけで成り立たせることはとても難しかったと思います。協力していただいた岡田先生、河合さん、小瀬良さん、そしてゲストスピーカーの方々に多くの感謝を伝えたいです。ありがとうございました。

【プロジェクトメンバー】

石井 裕子(文2) 清水 智子(文4) 原田 留理子(文4) 水谷 明香里(社会1) 江口 誠子(社会2) 中嶌 眞季(社会4)
小山 千尋(法4) 盛本 真由(法4) 田邊 雅樹(経済2) 大江 清貴(経済4) 井内 里香(政策2) 松岡 実幸(政策2)
吉田 佑樹(政策2) 福田 凌祐(理工3) 若林 美月(グローバル地域文化2) 下山 夕貴子(GC3) 竹中 真央(GC3)
小瀬良 実穂(SA)